



発行・カトリック水巻教会  
編集・広報委員会  
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3  
〒807-0025  
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354  
第362号

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

## 2016年度信徒総会開催される

2016年度信徒総会が6月25日行われました。出席者数は、それほど多くはなかったものの、和やかな中に、活発な発言、および質疑応答が行われました。

昨年、総会資料の事前配布についての要望がありましたので、総会の2週間前に配布させていただきました。

また、これまで全体一括報告、一括質疑という形式で議事を進めていましたが、今回は  
一号議案：新役員、委員、グループ代表者、  
二号議案：行事計画  
三号議案：予算案  
四号議案：営繕計画  
と議案を明確にし、1つ1つについて説明、質疑、承認と手順を踏んで進めさせていただきました。

活発な議論、意見をいただきましたが、全議案承認をいただき、滞りなく総会を終えることができました。皆様の協力に御礼申し上げます。

改めて、議論を振り返ってみますと

- ・必然的に、営繕の工事、営繕費の捻出が多くなった。今後、予算を確保していくための議論を続ける必要がある。
- ・予算編成そのものについて議論を深める必要がある。
- ・繰越金が600万円あるものの、繰越金は

年々減っており、実態は、赤字であることを認識すべきである。

・特別営繕献金等についての積み立てを(やはり)考えるべきである・・・これは複数の方から意見をいただきました。

・幼稚園との連携にも、今後、力を入れ、地域に必要とされる教会・幼稚園という姿を創っていく必要がある。

その他、典礼や役員の交通費支給など多くの意見をいただきました。

多くは、すぐには結論がでないものの、発言は皆、鋭意、検討に値する真剣なもので、今後の、教会の改変に役立つものとなると思います。

営繕献金を増やしていくにあたって、いろんなやり方が考えられます。多くのアイデアが集まれば、それだけ深い議論ができるようになります。今後も、気が付く点があれば、地区役員等を通じて、小教区委員会に意見を上げていただきたいと思います。

一つ一つの考え方に、それぞれ、メリット、

朝倉災害ボランティア	2・3面
幼稚園から	3面
信徒総会議事録	4・5面
小教区委員会報告	5・6・7面
教会学校	7面
お知らせ・短歌	8面

デメリットがあります。すべてを満足する完璧な考えというものはないと思います。小教区委員会での議論を踏まえて決まったことについては、一致して取り組んでいきたいと願っています。皆様の協力をお願い致します。

信徒の高齢化、営繕費の増大、幼稚園との

協働・保育園新設など、時間をかけて取り組んでいかなければならない課題が多くあります。

わたしたちが道に迷ったとき、聖霊の導きがありますように。

信徒会長 田中 拓



## 朝倉災害ボランティア活動報告

泥と戦う!

海老津地区 山口一隆

テレビのニュースで見た惨劇そのまま…高速道路上から見た光景が印象的でした。おびただしい数の流木に埋もれた家々、流され、半ば埋まった軽トラ。泥に埋まった田畑…

7月5日の集中豪雨から10日ほど経った7月16,17日、これまでの熊本支援から所を変えて集中豪雨の被害が多かった朝倉市に行ってきました。いつもは前日から現地入りしていましたが、今回は現地まで近いからと早朝出発しました。集合地は杷木。ここも行方不明者を幾人も出す被害の大きかったところで、行方不明者探索の自衛隊の車多数と並走しつつ現地入りしました。

今回参加したのは四人。リーダーの川島晋二さん、松尾隆さん、秦野靖浩さん、そして私。我々の活動母体である「支援のわ」も今回は朝倉市を中心に支援活動をおこないました。「支援のわ」代表堀内さんから活動内容が発表されました。要するに支援の支援ということで、本部センターから送り込まれる支援者たちのお世話をする係です。支援場所への引率、スコップ、一輪車などの道具の整備や管理、支援者の体調管理などが主な仕事ということでした。「支援のわ」に集った20数名が数グループに別れ各支部センターで活動です。我々は集合地から数分ほどの杷木の支部センターで活動しました。

現地は、センターとは言っても建物はあるが支援者が集合する場所が狭い上、流木の破片やガラスの入ったドアや泥土が積まれていました。早速、この障害物を取り片付ける作業に移りました。途中新たに参加するボランティアも現れ、作業は、20分ほどで終わりましたが、センターに到着するバスは、まだ30分位来ないということなので、それまで隣家の作業をお手伝いすることに…。とりあえず幅1メートルほどの脇道の泥土を取り除く作業を任せられました。

脇道自体が狭く、一輪車一台通すのがやっと。その上足元が悪く台車が思うように動かないので、板を置きその上に一輪車を走らせました。道を挟んで向かいの空き地が一時的な泥土置き場になっていましたが、自衛隊の車両や一般車両の往来が結構頻繁で気を使いながらの作業でした。一時間ほどが経ったのに一向に支援作業の声がかかりません。本来の作業は女性に任せて、男性は現在の作業を続行するよう、なんとなく決まったようでしたので、結構きつい作業でしたが続けることになりました。

猛暑の上炎天下。途中で何度も休憩と水分補給をしながらの作業は、それはそれで、充実していました。

この日は、作業リーダーの古川さん宅に泊めて頂きました。ありがとうございました。

翌17日は、朝倉市役所にある本部センターで、駐車場案内係を行いました。前日はこの

本部センターから 2200 人の方が各支部センターに送られたそうで、送迎するバスもフル回転だったとか。連休の終わりの日なので、今日は前日ほどではないだろうということでしたが、それでも駐車場への誘導作業は、結構忙しく、炎天下の中、大汗かいての作業となりました。

午前 10 時近くなると、駐車場誘導もまばらになってきました。そこで駆り出されたのが支部支援センターへ向かう車の送り出し作業。本部センター近くのコンビニの広い駐車場がその場所で、そこへ向かうために横断設備のない歩道を、安全に支援者を渡したり、人数の確認をしたり、発車及び到着時間の確認などが主な作業でした。そのリーダーが「九州キリスト災害支援センター」の諫山さんで、現在は熊本県益城町の仮設支援を行っているそうです。諫山さんの指示で午前中の作業を終え午後は 2 時から作業開始というので長めの昼食に入りました。急速の最中、天候が急変朝倉地区に豪雨注意報が出たとかで、支部センターからぞくぞくと支援者が帰ってくるようになりました。もちろん本部も支援者が全員戻り次第閉鎖されることになり、急に忙しくなりました。バスは一時間ほどで全車戻り一安心。稲光が光り一時は今にも降り出しそうでしたが、最後まで降り出すことなく全作業を無事終えることができました。(山口記)



## 水巻聖母幼稚園から8月のお知らせ

いつも水巻聖母幼稚園へのお祈り・ご協力ありがとうございます。

幼稚園の夏祭りではご協力ありがとうございました。水巻教会の皆様と子ども達、地域の皆様と幸せな時を過ごせたことに感謝いたします。

夏休み中の子ども達のために、どうぞお祈り下さい。

相良敦子先生が6月に帰天されました。いつも子ども達のためにと、心尽くしてくださっていました。ご冥福をお祈りいたします。

園長 Sr.松川明子 職員一同

7月15日(土)夏祭りの写真



## 2017年 信徒総会議事録 6月25日(日)

## 1. はじめの祈り、2. 主任司祭挨拶、3. 年間行事報告 4. 2016年度会計報告、会計監査

＜小教区委員長からの説明：訂正＞

訂正、追記すべき箇所 下線は既に記載してある内容 / 金額

一般会計収入 21： 預かり金収入  
(誤) 駐車場預かり金 (正) 電報預かり金  
2016年決算 2,322円

一般会計支出 47： 2016年決算  
22,522円

(備考欄に追記願いたいこと) 2016年駐車場返還 20,200円 電報 2,322円

参考： 昨年度、示された駐車場献金返金総額は、1,530,800円。当会計報告の、支出15寄付金支出 駐車場献金返金 1,510,600円。これに前述の「2016年駐車場返還20200円」を加えると、1,530,800円となり、預り金収入・支出が相殺される。

＜その他、委員長からの説明の主要点＞

- ・ 営繕費：スロープの補修 30.5万円、
- ・ 構造物取得支出：駐車場のブロックの補修、26万円。
- ・ 什器設備取得支出 司祭館IAJ更新 103,096円
- ・ 永代供養希望者が生前から支払い、生前に取りやめした件で、3万×9年=21万円を返金。加えて、納骨堂利用者集会の議論で、さらに9万円を返金の予定。
- ・ 教会に来られない方への維持費支払呼びかけ(手紙郵送)により若干収入増
- ・ 収入 No.5 4121 一般寄付金収入 予

算 100,000円に対し、実績 711,323円 駐車場献金返金をそのまま寄付していただいた方がおられたため増えた。

5. 小教区委員、小グループ代表者(1号議案) 全会一致で承認された。

6. 2017年度年間行事計画(2号議案) 全会一致で承認された。  
幼稚園の行事：(7月の納涼祭、10月のバザー)の実施と協力をお願いする。

7. 2017年度予算(3号議案) 営繕費：老朽化が進んでいるので、昨年度30万円を50万円に増額。

8. 営繕計画(4号議案)  
(1) エアコン更新  
聖堂の左右8台を更新。信徒館のエアコン4台も更新する。合計345万円。これを特別営繕献金、現在694万円の備蓄から捻出。  
(2) 納骨堂 シリンダー錠、蝶番更新  
支出は57万円。これを納骨堂献金(営繕積立)から捻出する。  
2017年の行事と予算の承認がなされた。

9. その他の意見・質疑応答  
＜司祭給与と寄付関連＞  
信徒：神父の給与に関連して。修道会への寄付はあるが、神父への給与はない。  
どうしてか？以前、ハーン神父やガイアール神父のときは給与となっていた。  
会長：教区の指導を受けて、こうなった。  
司祭：修道会の司祭において、お金は自分のものでない。

## &lt;予算における営繕関連&gt;

信徒：特別営繕献金等の積み立てを、再考して頂きたい。

会長：収入レベル問わず、一律500円等を課すことは負担になる人もおられるのではないかとの司祭意向を踏まえ、今年度は一般維持費納入にて、より一層の協力をお願いし、予算(資金)の確保につなげたい。

## &lt;再び、給与について&gt;

信徒：教区の指導では、小教区に司祭が出す給与は、標準、月12.5万円で、ボーナスな

し。余裕のあるところは、15万円とし、ボーナスも出す、とある。

司祭から、営繕等での寄付を頂くことがあり得る。パリミッション会の司祭ではそれがあつた。或いは給与を標準額に減額して頂き、そうすれば決算に余裕が出るので、一般収入から特別営繕献金に回せる。

## &lt;その他の意見&gt;

役員選出の規定の整備を願いたい。

聖書朗読の後の応答が欲しい。

聖歌練習は早めに終えて欲しい。

## 委員会等報告

2017年7月分

### 7月度小教区委員会 7月2日

#### 1. 行事予定

- ・8月6日(日)北九州平和の集い(小倉教会)
  - ・8月15日(火)聖母被昇天ミサ 9:30~
  - ・8月19日(土)役員会 10:00~12:00
  - ・8月25日(金)ホムス炊き出し 11:00~
  - ・9月3日(日)小教区委員会
  - ・9月10日(日)敬老のお祝い会
- ※8月は小教区委員会はお休みです。

#### 2. 議事

##### (1)信徒総会について

・総会后に以下の意見が小教区委員に寄せられた。

①2014年に繰越金が約250万円増えたまま、現在に至っている。一般会計と納骨堂献金の間のやりくりの過程で、一般会計から納骨堂献金に繰り入れたものが相殺されて

いない可能性もあり、調査する必要がある。

⇒財務にて確認。

②葬式の謝礼は収入のどの科目に入っているのか

⇒4213 祭式献金の科目に計上されている。

③献金を集めるために、ミサが中断されてしまっている。入口に献金箱を設置し、ミサ前に集まるようにしてはどうか。

⇒献金を入れ忘れるなど、献金が減る恐れもある。他教会では入口でホスチアを自分でカリスに入れるようにしているところもある。ホスチアと献金箱を隣接して置けば、入れ忘れも防止できるのでは、等の意見が出された。⇒典礼委員会にて検討課題として預かることとした。

## (2) 敬老会(9月10日)について

- ・小教区委員は全員参加とする。都合の悪い方は田中まで連絡のこと。
- ・食事は例年通り、東筑軒の敬老弁当とする。お手伝いの方のお弁当も準備する。
- ・弁当に加えて吸い物程度を用意することとする。
- ・何か催しがあった方が楽しいとの意見あり。

## (3) 冠婚葬祭の会からの報告

## ① 冠婚葬祭の会の会計取り扱いについて

葬儀の謝礼は10万円(目安)。

従来 司祭4万円、教会5万円、冠婚葬祭の会1万円 の配分で受け取っていた。

冠婚葬祭の会では、この1万円をお手伝いいただいた方へのお弁当の準備等の財源としてきたが、これまで会計報告を小教区に対して行ってきていなかった。また、今までの残余金として278,946円持っている。

本来、小教区会計に含まれるものであり、会計管理の一元化の観点からも好ましくない状況である。きちんと冠婚葬祭の会で会計を置き、会計報告を行うことも考えられるが、管理がわずらわしいとの意見が出た。

従って、今後は司祭4万円、教会6万円とし、手伝いの方の弁当代等の必要経費は領収書をもって小教区の一般会計から支出することとする。

なお、これまでの残余金278,946円については、寄付金として小教区一般会計に繰り入れることとする。

## ② 火葬証明書の扱いについて

納骨堂への埋葬者の火葬証明書については原本を教会で預かり保管している。コピー

でもいいのではとの意見も出たが、法令で原本と一緒に保管することが義務付けられているため、火葬証明書の扱いは従来通りとする。

## ③ 納骨堂の換気扇について

納骨堂の換気扇は本来24時間稼働が望ましいと思われるが、老朽化が進んでおり、漏電による火災の恐れもあることから、誰かがいる時のみ稼働させている。エアコン工事の際に漏電チェックをしていただくよう、エアコン工事業者に依頼してみることにする。

## (4) その他

## ① 備品購入

聖歌練習や葬儀のためのキーボードが故障したため、新たに購入する。(約3万円)

## ② 幼稚園との協働について

黒崎教会の川上神父様より「大牟田教会とその幼稚園が認定子供園となり、いろんな活動を展開している。水巻教会から訪問し、今後の活動の参考にしてはどうか。」とのアドバイスをいただいた。是非、実行に移してはどうかとの提案があった。今後、具体的な計画を考えていく。

## 3. その他記事

## (1) 大人の日曜学校

7月9日の大人の日曜学校では、田中小教区委員長よりアンケートの結果報告がありました。高齢化により、車の運転ができなくなれば、教会から遠のいてしまうといった不安など多くの意見が紹介されました。また、各活動グループの活動報告も行われました。どのグループも少人数ながら、地道に活動を継続していますが、もっともっと仲間が増えれば楽しいとのアピールがありました。皆さ

んも何か1つでも教会の活動に関わってみませんか？

(2)聖母幼稚園 夏祭り

7月15日に聖母幼稚園の夏祭りがあり、水巻教会はかき氷のお手伝いをしました。6名の方に協力いただきました。ありがとうございました。とんでもない暑さで、かき氷は大人気。6名でも大忙しでした。また、信徒の子ども連れも集まり、楽しんでいただきました。

卒園生も多く集まり、盛大な夏祭りでした。ゲームや福引もあり、誰でも楽しめる企画盛りだくさんのお祭りでした。10月の幼稚園バザーにも協力していこうと思います。

(3)教会学校ファミリーキャンプ

(4)平和の集い

・8月6日平和の集いが開催されます。皆さんの参加をお待ちしています。

・第1部 各教会で平和祈願ミサ

・第2部 小倉教会 13:00~16:00  
テーマ「だれもが平和の作り手になれるのです」=愛の反対は憎しみではなく無関心です(マザーテレサ) =

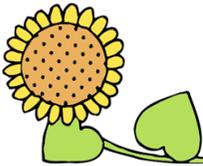
メイン講師 森山信三神父(福岡コレジオ院長)

平和献金先 ・東ティモール 聖イグナチオ学院基金・西アフリカ シエラレオネ

子供の広場 13:30~。

テーマ「戦争体験を通して平和を学ぶ」

11:30~ カレーとお茶を準備しています。



## 教会学校のページ

7月9日

教会学校 出席者 山田蓮くん

マタイによる福音 11章 25節~30節を音読しました。聖書に出てくる「軛」の意味を調べました。

イエス様を信じていても私たちには、時々悲しいこと辛いことがあります。悲しさ、つらさという重い荷物を背負わなくてはならない時、イエス様がその荷物を一緒に背負ってくれて、重い荷物を軽くしてくれます。自分が苦しい目にあっても人間の荷物を一緒に背負い続けたイエスさまに心から感謝しましょう。



★第17回 北九州平和の集い★

日時：8月6日(日)

場所：第1部 各小教区にて

第2部 小倉カトリック教会

詳しいことは、7面に載っていますので、そちらをご覧ください。

★聖母被昇天のミサ★

日時：8月15日(火)午前9時30分～

★ホームレス支援★

日時 8月25日(金) 11時～

お手伝いできる方は、ご協力をお願いします。詳しくは、日曜日のお知らせをご覧ください。

★お盆の納骨堂について★

お盆の三日間、納骨堂を開けています。

8月13日(日) ミサ後～17時

14日(月) 10時～17時

15日(火) 聖母被昇天ミサ後

～17時

自分の納骨堂の鍵をお持ちください。

なお、新しい鍵への交換は7月30日から順次行っています。

納骨堂委員 大原

★8月の聖書の勉強会★

神父様がされている、聖書の勉強会は8月はお休みです。詳しくは、日曜日のお知らせをご覧ください。

折尾地区 西山寿美枝さんの短歌

川底の石の下より次々と

稚魚のとび出す同じかたちで

蒼き空鳥達のものそっとして

天に上げられるその日の為に

次々と迷子の放送流れつつ

グリーンパークに人のあふるる

炎天下蟻の大群底知れぬ

黒き力がみみずに迫れる

丈越ゆる夏草の白き穂を摘みて

川に投げこむ鯉の餌にと

川に沿う長き欄干くつきりと

曲がりを見せれば影もつきそう

池の中に一人が入れば次々と

子供らはしゃぎて水あそびする

この数週間、お世話になりましたスティーブ神父様からの寄稿です。

“女が自分の乳飲み子を忘れるであろうか。母親が自分の産んだ子を憐れまないであろうかたとえ、女たちが忘れようともわたしがあなたを忘れることは決してない。見よ、私はあなたを私の手のひらに刻みつけるあなたの城壁は常に私の前にある。”（イザヤ書 49, 15-16）

この記事から皆さんにお会いできることは嬉しいです。神父として神様を信じながら、希望と心だけを持って日本に来ました。日本に来ていつの間にか4年が経ちました。日本で生活をするために、また教会で勤めるためにも日本語が必要なので、YWCAで日本語を勉強することになりました。日本語はとても難しく大変でしたが、間違えて話した日本語も面白くて楽しかったです。少しずつ日本の生活に慣れて来たと思います。知らない文化、新しい習慣や食事などに慣れるまでの生活は苦しかったです。けれども何とか嬉しくて幸せでした。なぜなら色々な人に助けてもらいました。例えば困っていた時や悩んでいた時日本語の先生や友達や信者さんが色々教えて下さいました。日本語だけではなく、いろいろ優しく教えて下さって助かりました。日本人の態度や優しさに驚かされました。

もう一つ良かったことは豊橋教会に行けたことです。豊橋教会の信者さんと一緒にミサを行ったり、祈りをしたり、食事をしながらお話し出来たことがもうすごく勉強になりました。そして子供達と久しぶりに遊んで楽しかったです。日本語を勉強した2年間、決して忘れられない嬉しいことや楽しいことがあったし、辛いことと哀しいこともありました。今までの経験で私が理解したのは聖書に書いてあるとおり神様が私のことを忘れないで、手のひらに刻みつけていつもまでも導いて下さいました、ということです。私達を愛して導いて下さっている神様に感謝いたしましょう。